

# 沖縄・辺野古の海を



## 殺すな！

=新基地建設を断念させよう=

# 3・10集会

日時；2012年3月10日(土) 18時半開場／19時開始

場所；東京しごとセンター・地下講堂(千代田区飯田橋3丁目10番3号)

★参加時に資料代500円が必要です

裏面に会場の地図あり

まきし よしかず  
講師：真喜志 好一

(建築家・沖縄環境ネットワーク)

日米政府の「米軍再編」合意が崩壊し、「普天間・辺野古」の闘いが正念場を迎えました。

昨年暮れ、沖縄防衛局は沖縄県へ辺野古アセス評価書の提出を強行。真喜志好一さんらは沖縄で、この提出阻止の市民の行動に積極的に参加してきました。

われわれは彼のお話を聞く集会を準備しました。この集会で普天間閉鎖・撤去、辺野古「移設」阻止の闘いの地平を確認し合い、闘いの勝利へむけて踏み出しましょう。

.....  
〈主催〉全労協全国一般東京労働組合／沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロック／  
辺野古への基地建設を許さない実行委員会

(連絡先電話；090-3910-4140 沖縄・一坪反戦地主会 関東ブロック)

沖縄・普天間基地の名護市辺野古への「移設」を阻止する闘いは、今再び大きな節目を迎えています。2月8日、日米両政府は06年5月に合意した在日米軍再編の「ロードマップ」のうち、普天間基地「移設」の“実現”を条件とした在沖縄海兵隊のグアム移転を新基地の完成を待たずに移転させることを柱とする見直しの協議に入ることを発表しました。

これまでの、沖縄現地でのボーリング調査を中止に追い込んだ海上での闘いや座り込み、選挙での移設推進派のたび重なる敗北という“沖縄の民意”によって、昨年6月の日米外務・防衛担当閣僚会合が期限とした2014年までとする移設目標は棚上げとされ、すでにば幻の計画と化していま

野湾市長選では移設推進

で当選したものの彼も「

にもかかわらず、今回

く、「代替施設に関する現在の計画が、唯一の有効な進め方であると信じている」とし、普天間基地の固定化というオドシの一方で、グアムへの海兵隊の移転と嘉手納以南の五施設返還を先行実施することで沖縄の負担軽減に努力する日米両政府の“誠意”を見せつけようとしています。しかもこの“誠意”には、普天間移設が実現しないために先行して返還できない場所もあるという、オマケもついています。

これは、辺野古新基地建設に係る環境影響評価書の沖縄県への提出をめぐる田中沖縄防衛局長(当時)の差別発言や評価書の県庁内への未明の強行搬入、真部同局長の宜野湾市長選への「講話」という形をとった投票指示等にも見られる「本土」の沖縄に対するアメとムチによる支配政策に他なりません。

2月20日に沖縄県知事が提出した「環境影響評価書」に対する「意見書」では、25項目127件の問題点が指摘され、「生活、自然環境の保全を図ることは不可能」と新基地計画を批判したうえ、「移設は事実上不可能」との県の意見を明記しています。

県知事にも幾重にもわたって批判され、すでに砂上の楼閣となりつつある新基地建設計画を四月末をメドとするロードマップの見直し作業でよみがえらせないためにもデタラメな評価書を徹底的に批判しておかなければなりません。

この集会を闘いの武器として、今こそ新基地建設を断念させましょう。



沖縄県庁に運び込まれたアセス評価書=1月4日

## 幻の計画と化した米軍再編、

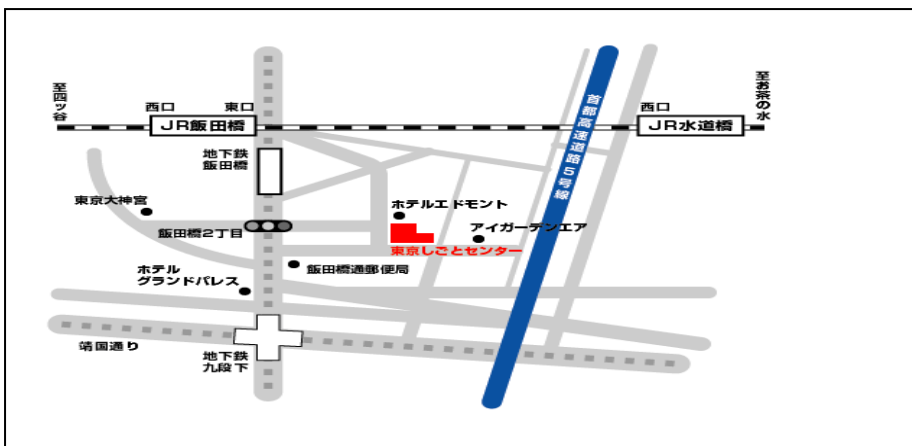
## アセス評価書はデタラメ

(2+2) では、ロードマップ “完成期日を明示しない” 半した。去る2月12日の宜

派だった佐喜真候補が僅差 県内移設反対」論です。

の見直しでは、性懲りもな

く、「代替施設に関する現在の計画が、唯一の有効な進め方であると信じている」とし、普天間基地の固定化というオドシの一方で、グアムへの海兵隊の移転と嘉手納以南の五施設返還を先行実施することで沖縄の負担軽減に努力する日米両政府の“誠意”を見せつけようとしています。しかもこの“誠意”には、普天間移設が実現しないために先行して返還できない場所もあるという、オマケもついています。



**飯田橋駅から:** JR 中央・総武線「東口」より徒歩7分。都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線「A2出口」より徒歩7分  
**水道橋駅から:** JR 中央・総武線「西口」より徒歩5分。**九段下駅から:** 東京メトロ東西線「7番出口」より徒歩8分 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線「3番出口」より徒歩10分

東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号 TEL 03-5211-1571